

過去最大級の巨大台風の接近で高潮による 浸水のおそれがある場合は…

- ✓ 気象情報等をもとに**早めの避難!!**
- ✓ 警戒レベル**④**で 危険な場所から **全員避難!!**

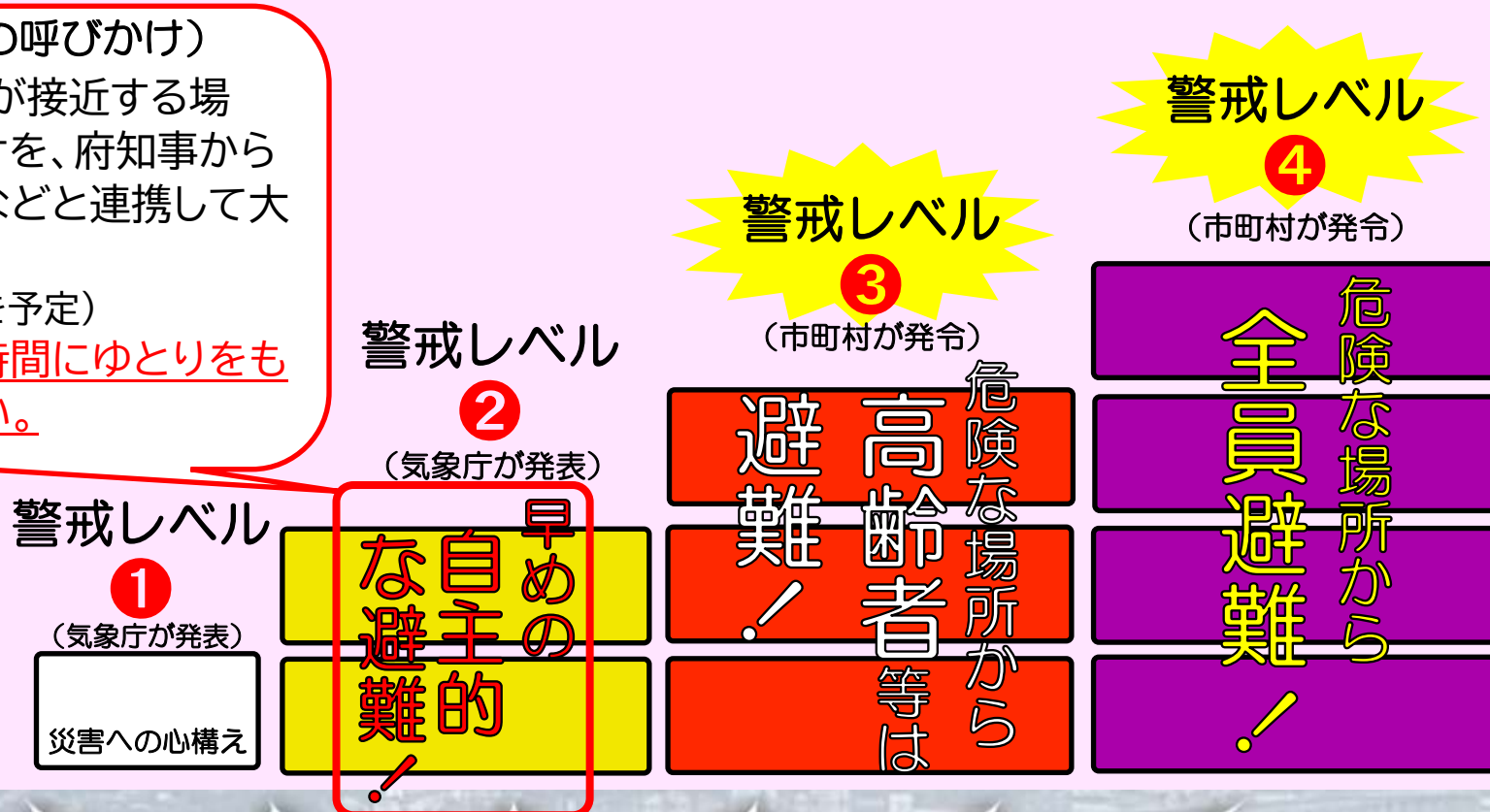
令和2年9月より、高潮発生に伴い市域が浸水するおそれがある場合に、大阪市より避難情報をお伝えします。

(大阪府・大阪市からの呼びかけ)

過去最大級の巨大な台風が接近する場合、早めの避難の呼びかけを、府知事からの「府民へのメッセージ」などと連携して大阪市から発信します。

(台風最接近の1～2日前を予定)

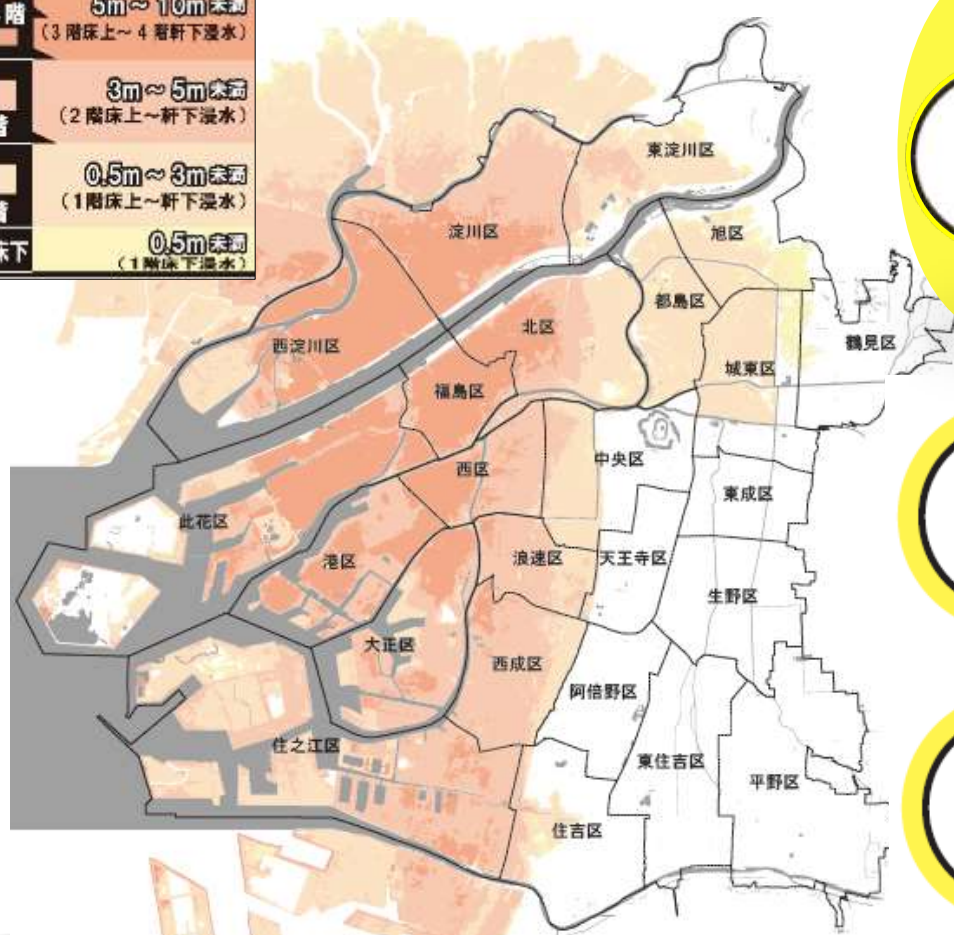
台風の影響が及ぶ前に、時間にゆとりをもった避難に努めてください。



【大阪市域の高潮浸水想定区域】 令和2年8月（大阪府）

【凡例】 浸水深

3・4階	5m～10m未満 (3階床上～4階軒下浸水)
2階	3m～5m未満 (2階床上～軒下浸水)
1階	0.5m～3m未満 (1階床上～軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)



高潮は、地震(津波)と異なり気象情報等をもとに早めの避難が可能です。大阪市からの「警戒レベル3や4」の発令を待つことなく、平時に決めておいた場所にゆとりをもって避難し、安全を確保しましょう。

「避難」とは「難」を「避」けることです。安全が確保されているならば自宅で待機することも避難方法のひとつです。

避難先は、公的な避難場所に限りません。近くの親戚・知人宅等への避難について日頃から相談しておいてください。

高潮(台風)時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、
自宅の災害リスクや、とるべき行動を平時から確認しましょう。

避難行動判定フロー

●あなたがとるべき避難行動は？

必ず確認しましょう

ハザードマップ※(高潮が発生した場合)で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけましょう。

※ハザードマップは、浸水の危険性が高い区域などを予測して着色した地図です。なお、着色されていないところでも浸水などが起こる可能性があります。

自宅は色が塗られていない(浸水が想定されていない)場所にありますか？

はい

自宅に留まり安全を確保してください。
(周り比べて低い土地にお住まいの方は、必要に応じた避難も検討してください。)

いいえ

自宅の居室等は、塗られている色(浸水する深さ)よりも高いところにありますか？

はい

自宅がマンションなどの頑丈な建物に該当する場合は、水・食糧などの備えや安全確保を十分にしたうえで、水がひくまで自宅に留まることも考えてください。

いいえ

該当しない

早めの避難を行うことができる、浸水のない場所にお住まいの親戚・知人宅等がありますか？

はい

気象情報や大阪府市からの呼びかけ(「府民へのメッセージ」など)をもとに、台風の影
響が及ぶ前に、安全な親戚・知人宅等へ
ゆとりをもって自主的に避難することを考えてく
ださい。
※ 日頃から相談しておきましょう。

いいえ

ご自身または、一緒に避難する方は、時間をかけず速やかに避難することができますか？

はい

いいえ

※ 台風の影響で、すでに屋外では激しい風雨が起きていることもあるため、自宅外への避難は、安全に十分に気を付けて行動してください。

近隣に、安全な建物等で、身を寄せられる親戚・知人宅等がありますか？

はい

いいえ

警戒レベル **3** が出たら、安全な親戚・知人宅等に避難してください。
※ 日頃から相談しておきましょう。

警戒レベル **3** が出たら、市が指定している避難場所※(小中学校など)の浸水しない階に避難してください。

はい

いいえ

警戒レベル **4** が出たら、安全な親戚・知人宅等に避難してください。
※ 日頃から相談しておきましょう。

警戒レベル **4** が出たら、市が指定している避難場所※(小中学校など)の浸水しない階に避難してください。

※「水害時避難ビル」や「津波避難ビル」